

我が県土  
支え育む  
希望郷



美しい

# 県土づくりNEWS

2021年  
7月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第 203 号  
令和 3 年 7 月 30 日発行  
編集 県土整備企画室



## 目次

- 2 築川ダムの竣工式を開催しました！
- 4 復興道路・三陸沿岸道路  
「田野畑南～尾肝要」開通！
- 6 (仮称)小倉山4号トンネル築造工事が進んでいます！
- 8 森の朝市C a f eが開催されました  
～災害公営住宅のコミュニティ形成の取組～
- 9 令和2年度岩手県流域下水道事業会計決算概要
- 11 津波防災出前講座を開催中！
- 12 花いっぱい運動の実施と見ごろ情報について
- 13 岩手「道の駅」スタンプラリーを開催します！



## 祝 築川ダム 竣工 築川ダムの竣工式を開催しました！



調査開始から 43 年を経て完成した岩手県盛岡市の「築川ダム」の竣工式を令和 3 年 7 月 18 日に開催しました。

式には、達増知事など約 80 人が出席し、テープカットとダム式万歳で完成を祝いました。

築川ダムは、昭和 53 年の予備調査開始から、ダム完成時に貯水池に水没する湛水区域における補償や一般国道 106 号、主要地方道盛岡大迫東和線の付け替え工事、ダム本体工事を進めてきました。その後、試験湛水を経て今般、竣工式を迎えることができました。

築川ダムは、県土整備部所管の県営ダムで最大の総貯水容量を誇り、洪水の調節や、盛岡市と矢巾町の水道用水確保のほか、同時に完成した水力発電施設では、年間約 3,600 世帯分の電力を賄います。



テープカット及びくす玉開披の様子

# 築川ダム of 竣工式を開催しました！

盛岡広域振興局土木部

県が建設を進めていた築川ダムにおいて、令和2年10月2日から開始した試験湛水が令和3年4月29日に終了し、令和3年7月18日（日）に竣工式が執り行われました。

ダム事業は、昭和53年から県単独費により予備調査に着手し、平成4年に国庫補助によるダム建設事業として採択され、平成8年に湛水区域における補償基準妥結調印を経た後、付替国・県道を整備し、平成26年12月にダム本体工事の契約締結を行いました。

平成28年2月に転流（川の流れを堤外仮排水路トンネルへ迂回）を開始し、基礎掘削、堤体コンクリート打設を行い、打設完了後、令和元年12月に2次転流（堤外仮排水路からダム堤体下部に設けられた堤内仮排水路へ切り替え）を実施しました。その後、令和2年10月に堤内仮排水路を閉塞ゲートで締め切ることにより試験湛水を開始し、サーチャージ（洪水時最高）水位まで貯水位を上昇させた後、所定の水位まで降下させ、令和3年4月に試験湛水は終了しました。

その後、国土交通省、国土技術政策総合研究所及び土木研究所に対する試験湛水結果報告を行い、水利使用規則に基づく完成検査の受検、管理移行に伴う操作規則・細則等の制定を行った後、今般、竣工式を迎えました。

竣工式は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催が危ぶまれたところですが、参加人数を最小限とし、感染対策を十分に行った上で開催しました。



1 達増知事による式辞



2 高橋土木部長による工事経過報告



3 記念碑除幕（揮毫：達増知事）



4 ハクセル商工建設委員長によるダム式万歳（※）

※ダム式万歳：ダム完成式典の締めなどで、ダムになりきって空に向かって万歳三唱するものです。

## 築川ダム概要

築川ダムは、築川の治水対策、既得用水の取水や河川環境の保全に必要な水の供給、盛岡市及び矢巾町への水道用水の供給、企業局による水力発電を目的として建設された多目的ダムです。

### 洪水調節

台風や大雨により増水した川の水をダムに貯めて、川があふれないように調節して安全に流します。

### 流水の正常な機能の維持（既得取水の安定化、河川環境の保全）

魚類等の生息に必要な流量の確保や従前から利用されている農業用水等の安定的な取水のため、渇水時にダムから流水を補給し、豊かで清らかな築川を維持し潤いある地域の環境を守ります。

### 水道用水の確保

私たちの暮らしに欠かすことができない水道用水を確保します。築川ダムでは盛岡市と矢巾町に対し、新たに1日最大5,000m<sup>3</sup>を供給します。

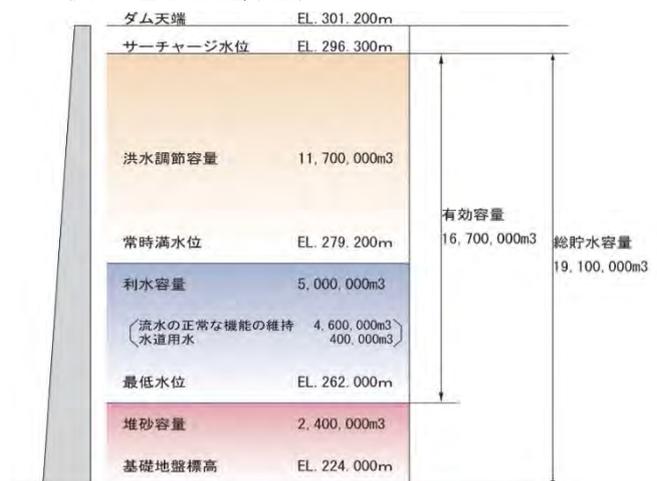
### 水力発電

岩手県企業局において、築川ダムからの放流水を利用した水力発電を行います。最大出力は1,900kWで1年あたり約1,100万kWhの売電を見込んでいます。（一般家庭約3,600世帯分に相当します。）

（主要諸元）

型	式	重力式コンクリート
堤	高	77.2m
堤	頂長	242.7m
堤	体積	230,000m <sup>3</sup>
総貯水容量		19,100千m <sup>3</sup>
有効貯水容量		16,700千m <sup>3</sup>
洪水調節容量		11,700千m <sup>3</sup>
不特定容量		4,600千m <sup>3</sup>
水道用水容量		400千m <sup>3</sup>
湛水面積		0.97km <sup>2</sup>

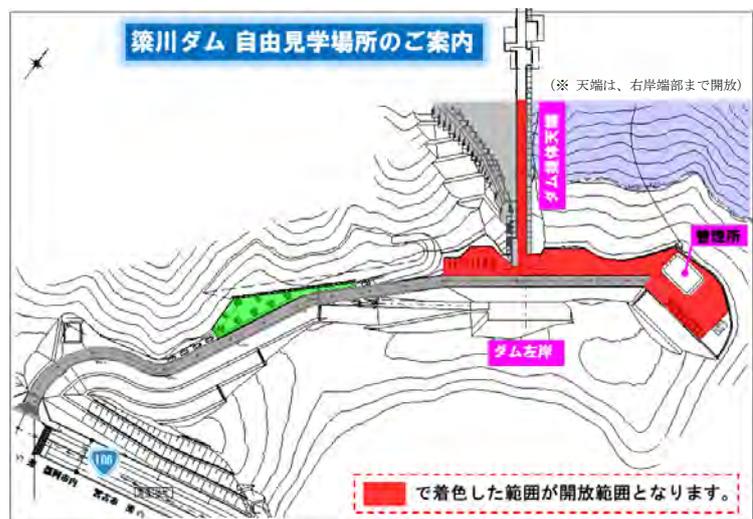
（貯水池容量配分図）



※水力発電については、発電のための貯水は行わず、ダムからの放流水を使って発電するため、利水容量はありません。

## 築川ダムの一般開放

これまで工事中の為、ダムの堤体天端への進入路を閉鎖しておりましたが、竣工に伴い、19日より一般開放しています。なお、一般開放と併せてダムカードの配付を再開しています。



詳しくは、こちらから盛岡広域振興局土木部のホームページをご覧ください。



# 復興道路 E45 三陸沿岸道路 田野畑南～尾肝要 開通！

道路建設課

令和3年7月10日（土）、復興のリーディングプロジェクトとして国が整備を進めている三陸沿岸道路「田野畑南～尾肝要」の開通式が国、県、田野畑村の共催で開催されました。

式典には、大島 衆議院議長、鳩山 国土交通政務官、達増 知事、石原 田野畑村長、県選出国會議員、県議会議員などの関係者が出席しました。

鳩山 国土交通政務官、達増 知事、石原 田野畑村長、大島 衆議院議長による挨拶、吉川 復興大臣政務官、県選出国會議員の方々から祝辞をいただき、その後、テープカット及びくす玉開披が行われました。



挨拶 鳩山 国土交通政務官



挨拶 達増 知事



挨拶 石原 田野畑村長



テープカット、くす玉開披の様子



通り初め



交通開放状況（本線）



交通開放状況（インターチェンジ）

（写真提供：三陸国道事務所）



今回の開通により普代村以南の三陸沿岸道路は全て開通し、仙台市までの約 283 kmが自動車専用道路で結ばれることとなりました。また、北山崎や鶴の巣断崖などの三陸復興国立公園を代表する景勝地へのアクセス向上による観光振興、新鮮な水産物や乳製品等の販路拡大など、**地域産業の活性化が期待**されます。県では引き続き、国や市町村、関係者の皆様と連携し復興道路の1日も早い全線開通に取り組んでいきます。

### ○開通を記念したイベントの開催

今回の三陸沿岸道路「田野畑南～尾肝要」の開通を記念し、7月3日に岩手県（道路建設課、岩泉土木センター）と田野畑村が主催となり開通プレイベントを開催し、約130名の県民の皆様にご参加いただき、「**思惟花笑み大橋**」を歩いていただきました。参加者からは「橋の高さに感動した」「さらに道路が便利になる」など様々な御感想をいただきました。



## 【主要地方道花巻大曲線 小倉山の2工区】

### （仮称）小倉山4号トンネル築造工事が進んでいます！

県南広域振興局土木部花巻土木センター

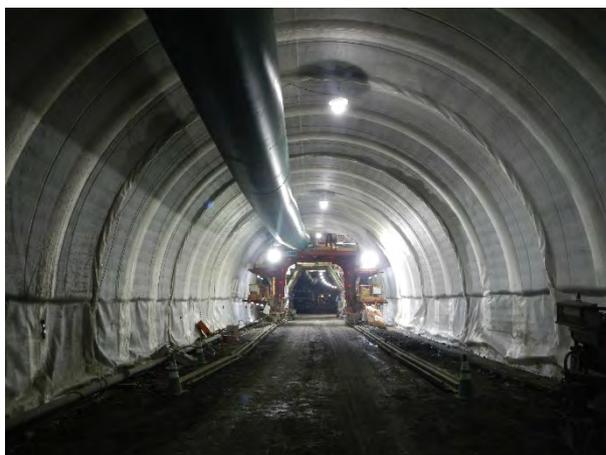
主要地方道花巻大曲線小倉山の2工区は、令和2年3月に（仮称）小倉山4号トンネル築造工事を契約、令和2年11月に安全祈願祭を開催し、本格的な掘削に着手しました。令和3年5月には覆工コンクリートの打設が始まり、工事が最盛期を迎えています。

トンネル工は延長1,034mのうち、令和3年6月末時点で掘削が715.8m、覆工コンクリートが126.0mとなっており、順調に工事が進んでいます。トンネル工事と並行し、令和3年度は明かり部の道路改良工事も本格化しており、トンネル掘削ずりを利用した盛土工事を進めています。



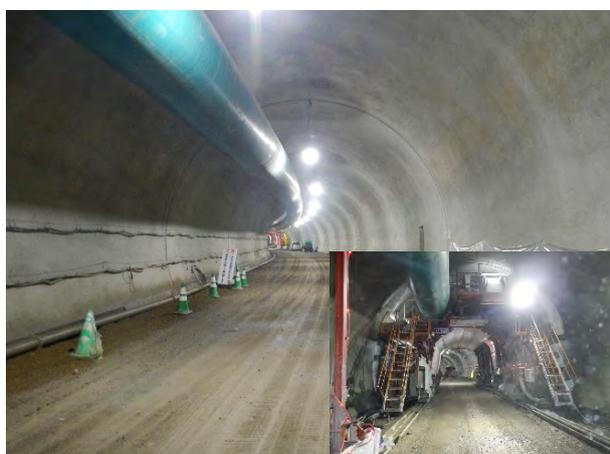
〈 切羽（きりは）の状況 〉

切羽とはトンネル掘削の最先端のことです。切羽の状態を点数化し、支保パターン（支保工の間隔やロックボルトの本数）を決定します。



〈 防水シートの設置状況 〉

技術提案でFILM工法を採用しています。防水シート背面にモルタルを充填し平滑化することで、覆工コンクリートの品質向上を図ります。



〈 覆工コンクリート打設完了 〉

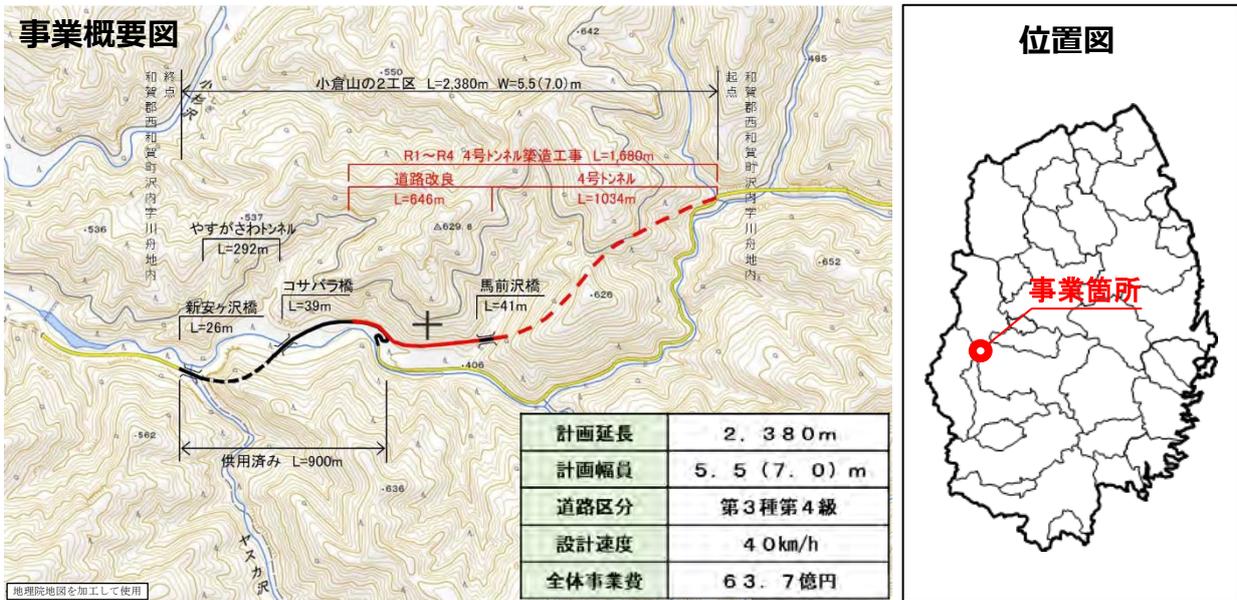
覆工コンクリートは長さ10.5mのスライドセンターという移動式の型枠を使用して打設します。（写真右下）



〈 道路改良区間の状況 〉

写真左側から盛土を進めています。写真右上はトンネルの仮設備が設置されており、トンネル掘削完了後に仮設備を撤去してから盛土に着手します。

## 小倉山の2工区の事業概要



### 現道の状況

幅員狭小・急カーブの連続で安全で円滑な通行の支障となっている。  
 落石や土砂流出等の危険箇所が存在し、土砂崩れの際には長期間の通行規制が生じている。

### 整備効果

- 未供用区間(1,480m)の整備により、現道と比較して約3分の時間短縮
- 幅員狭小・急カーブの解消により、道路利用者の安全・安心が向上
- 代替機能を確保した信頼性の高い道路ネットワークの構築

### 現場見学会を受入れ中です！

(仮称)小倉山4号トンネル築造工事では、公共事業への理解を深めていただくこと、地域に親しまれるインフラとすること、建設業への担い手確保等を目的として、現場見学会の受入れを行っています。

#### 【お問い合わせ先】

花巻土木センター 道路整備課 道路都市チーム  
 電話番号 0198-22-4973

## 森の朝市Caféが開催されました ～災害公営住宅のコミュニティ形成の取組～

### 建築住宅課

令和3年6月26日（土）に県が盛岡市に整備した災害公営住宅「南青山アパート」において森の朝市caféが開催され、入居している方と町内会などの地域の方が、カフェマスターが入れるおいしいコーヒーを飲みながら、交流会を通し楽しいひと時を過ごしました。

当日は、地域の福祉施設の方が育てた野菜のマーケット、岩手大学のボランティアサークルによる運営支援や地元アーティスト生演奏が行われ、参加した皆さんの笑顔があふれるイベントとなりました。



【カフェマスター】

6月の森の朝市café ☕

- ◎カフェマスターのおいしいコーヒー（無料）  
一杯一杯、心を込めています。  
こだわりのコーヒーをぜひお楽しみください。
- ◎岩手大学「三陸委員会 ここより」コーナー  
岩手大学生によるボランティアサークルです。  
活動の紹介を兼ねて、住民のみなさまとの交流にやっています。
- ◎森のアートテラス VOL.3  
民族楽器演奏家 リップさん  
アイヌや東南アジアの民族楽器など、  
フシギな音色で癒されてください。
- ◎杉生園（さんせいえん）の新鮮お野菜  
今回はどんなお野菜が届くのかな。  
朝採り野菜をぜひどうぞ！

コーヒー  
新鮮野菜  
癒しの音楽  
学生さんの  
パネル展示など

◎カフェマスターのご紹介  
2号棟 403号の  
及川です。  
心を込めた  
一杯をどうぞ！

6月26日（土）9時～12時  
南青山アパート集会所「森のテラス」



【マーケット】



【交流会】

県では、災害公営住宅を拠点として、多くの方の関わり合いによる地域のコミュニティの活性化、顔が見える関係性の構築のためにもりおか復興支援センター、岩手県立大学と地域課題の解決に向けた協働研究を実施しており、今回の取組も今後の地域の活性化等に役立てたいと考えています。

# 令和2年度岩手県流域下水道事業会計決算概要

## 下水環境課

本県の流域下水道事業は、令和2年4月1日から地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計へ移行しております。

公営企業会計初年度である令和2年度の決算概要についてお知らせします。

### ◆決算概要

- 令和2年度は、北上川上流流域及び磐井川流域の10市町を処理区域とし、関連公共下水道から流入した7,228万m<sup>3</sup>の汚水を処理。これに伴う関連市町からの負担金収入は41億2千4百万円余となりました。
- 経常収益は、関連市町からの負担金のほか長期前受金戻入など94億3千2百万円余、経常費用は、処理場費や減価償却費など88億7千4百万円余となりました。
- 経常利益は5億5千8百万円余となり、これに特別損益を加減した純利益は5億1千6百万円余となりました。

### 令和2年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B) ※	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B) / B
経常収益		9,432,886	—	—	—
経常費用		8,874,245	—	—	—
<b>経常利益</b>		<b>558,641</b>	—	—	—
特別利益		13,708	—	—	—
特別損失		56,151	—	—	—
<b>純利益</b>		<b>516,198</b>	—	—	—

※ 令和元年度は公営企業会計未適用のため該当数値なし

### ◆各科目等に関する説明

#### ○汚水処理の状況

令和元年度と比較し、流入水量は9.9%の増加、負担金収入は13.0%の増加となりました。

(単位：千m<sup>3</sup>/年、千円) 税抜

区分	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較		処理区域
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B) / B	
総処理水量		72,280	65,791	6,489	9.9%	
うち北上川上流流域		68,825	62,456	6,369	10.2%	盛岡市、滝沢市、雫石町、矢巾町、花巻市、北上市、奥州市及び金ケ崎町
うち磐井川流域		3,455	3,335	120	3.6%	一関市及び平泉町
市町負担金収入		4,124,937	3,651,556	473,381	13.0%	

### ○経常収益の状況

維持管理に係る関連市町からの負担金 4,124,937 千円のほか、他会計補助金 923,281 千円、長期前受金戻入 4,209,093 千円など、合計 9,432,886 千円となりました。

### ○経常費用の状況

管渠費、ポンプ場費及び処理場費等の維持管理費 3,093,889 千円のほか、減価償却費 5,341,166 千円、建設改良費の財源に充てるための企業債に係る支払利息 239,548 千円など、合計 8,874,245 千円となりました。

### ○経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益は 558,641 千円となりました。

特別利益 13,708 千円、特別損失 56,151 千円は、いずれも地方公営企業法適用に伴う過年度損益の調整項目であり、これらを加減した最終的な当期純利益は 516,198 千円となりました。

なお、経常利益の当初予定に対する実績は次のとおりとなりました。

(単位：千円) 税抜

区 分	当初予定	実 績	増 減	備 考
経 常 利 益	125,356	558,641	433,285	契約実績等による委託費の減などにより、当初予定と比較し経常利益が増加したものの。
経常収支比率	101.3%	106.2%	4.9%	

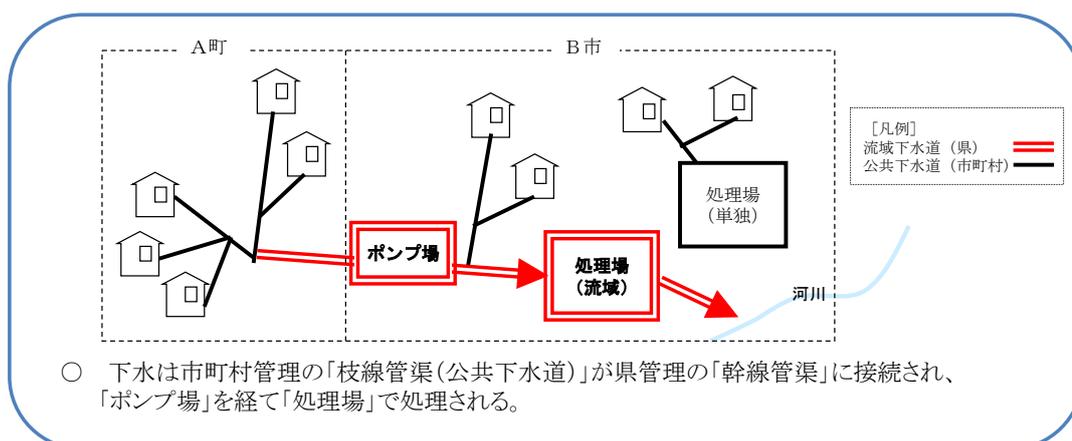
### ◆参考：地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）について

- 地域の住民サービスを担う公営企業の運営について、独立採算制を基本原則としながら、経済性の発揮と公共の福祉の増進との両立を図ることを目的とする法律です。

### ◆参考：流域下水道について

- 県が実施主体となり、2つ以上の市町村から排出される下水を処理。広域的に下水の処理をすることにより、経済的かつ効率的に「生活環境の保全」、「公衆衛生の向上」、「公共用水域の水質保全」等の下水道事業の目的の達成に寄与するものとなっています。
- 流域下水道の関連市町は、盛岡市をはじめとする 10 市町、計画処理人口は約 56 万人となっています。

#### 【流域下水道の仕組み】



～県北地域の防災力向上を目指して～

**津波防災出前講座を開催中！**

県北広域振興局土木部

県北地域の子供たちの津波に対する知識と防災力の向上を目的に、防災教育の一環として津波防災教育講座（施設見学等）を平成15年より継続的に開催しています。昨年度は新型コロナウイルスの影響により開催を中止しましたが、震災から10年という節目、かつ震災を知らない子供たちが年々増えてくることから、今年度は感染対策を行い、応募のあった13校を対象に開催しています。

**講座内容**

津波防災施設の見学や出前授業を通して、震災当時の被災状況、施設の効果と限界、避難の重要性、水門・陸閘の遠隔操作の仕組みについて学んでもらいます。

- 施設見学会：施設を目の前にパネル等で説明、陸閘の電動閉鎖見学・操作体験
- 出前授業：当課職員が学校へ赴き、スライド資料で説明

（講座資料はコチラ→[岩手県 HP トップページ](#)>[県北広域振興局](#)>[土木部](#)>[事業紹介](#)>「津波防災出前講座」関連資料）

**開催日程**

月日	講座形式	学校名	人数
6/2	出前授業	種市高等学校	全校生徒 131名
6/9	見学（久慈港）	久慈拓陽支援学校	4年生 6名
6/11	見学（久慈港）	久慈小学校	4年生 100名
6/17	見学（野田水門）	野田中学校	1年生 30名
6/22	見学（川尻水門）	種市小学校	4年生 36名
6/28	見学（久慈港）	久慈湊小学校	5年生 30名
7/8	見学（久慈港）	三崎中学校	3年生 5名
7/13	見学（久慈港）	小久慈小学校	6年生 42名
7/15	出前授業	長内中学校	2年生 75名
9/7	見学（久慈港）	長内小学校	4年生 51名
9/13	見学（久慈港）	侍浜小学校	4年生 15名
9/21	見学（野田水門）	野田小学校	6年生 24名
10/22	見学（久慈港）	山形小学校	3,4年生 15名



▲出前授業の様子（種市高等学校）



▲施設見学会の様子（種市小学校）

**生徒さんからの質問**

質）地震がどれくらい大きかったら津波が来ると思えばいいか。

答）地震の大きさで津波が発生するかどうかが決まるわけではない。小さな地震でも津波が発生することがあるため、どんなに小さくても地震が発生したら「津波が発生するかもしれない」と思うようにしてほしい。

質）陸閘はどのようにして開閉するのか。

答）津波注意報等が発表されると自動で閉鎖するシステムを導入している。また、消防署などの安全な場所から遠隔操作することもできる。

## 花いっぱい運動の実施と見ごろ情報について

盛岡広域振興局土木部流域治水室綱取ダム管理事務所

綱取ダム管理事務所では、「森と湖に親しむ旬間」のイベントの一環として「花いっぱい運動」を令和3年5月26日に実施しました。

今回の花いっぱい運動では、サルビア、マリーゴールド、メランポジウム等、合わせて約650本を、「綱取ダムの環境と清流を守る会」などボランティアを含む総勢約30名と共同し、綱取ダム管理事務所付近の花壇に植えました。

**9月上旬までが花の見ごろ**ですので、綱取ダムにお越しの際は、ぜひお立寄り下さい。



▲ 花いっぱい運動の活動状況



▲ 現在の花壇の状況

### 【「綱取ダムの環境と清流を守る会」の紹介】

綱取ダムの環境と清流を守る会は、昭和57年10月設立され今年で39年目を迎えます。今回の花いっぱい運動は、昭和63年以降累計32年間に及び継続しています。また、花いっぱい運動だけではなく、コブシやヤマモミジ、オオヤマザクラ、エドヒガンザクラ等の植栽も行い、ダム流域の緑化推進により、緑豊かな景観の創出にも貢献しています。

更に、綱取ダム管理事務所と連携し、設立から毎年春と秋の2回、町内会、子ども会、地域の関係団体などと清掃活動・ごみ不法投棄パトロールの実施、平成14年からは、中津川へ約2万匹のさけの稚魚放流活動を行うなど、ダム周辺の緑や景観、自然を守るため地域と一体で取り組んでいます。この活動の輪はダム周辺の住民だけでなく市内の企業など多方面へ広がっており、清掃活動を通じて地域間の交流の拡大が図られるなど、環境保全意識の普及にも大きな成果をあげています。

これらの持続的な水資源保全に係る啓蒙普及活動が評価され、国土交通省より令和3年度「**水資源功績者**」として表彰されました。

# 岩手「道の駅」スタンプラリーを開催します！

～復興道路・復興支援道路全線開通直前を記念する特別限定版～

道路建設課・道路環境課

## 1 第18回 岩手「道の駅」スタンプラリー（特別限定版）

8月1日（日）から第18回岩手「道の駅」スタンプラリーが始まります！

今年は、全線開通が目前となった復興道路・復興支援道路を実感いただくため、特別限定版として夏期もスタンプラリーを追加開催します！

県内の「道の駅」を巡って「内陸～沿岸」や「沿岸北部～南部」がより近くなったことを体感してみませんか？

### ■Wチャンス特別賞

「三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路、東北自動車道釜石秋田線」沿いの道の駅

又は

道の駅「錦秋湖」（又は湯夢プラザ）のスタンプを10個以上集めるとWチャンス特別賞（3,000円の道の駅商品券）が当たるかも！？

### ■第18回岩手「道の駅」スタンプラリーの応募方法

- 開催期間 令和3年8月1日（日）～令和3年11月30日（火）  
※応募締切 令和3年11月30日（火）当日消印有効
- 応募方法 岩手県内の道の駅に置かれているスタンプ台紙（応募ハガキ）に各道の駅のスタンプを押印し、切手を貼って応募してください（応募は1人1回まで）。  
※当選発表は賞品発送をもって代えさせていただきます。
- 各賞について  
スタンプ35個（全箇所） → 完走賞10名（10,000円相当の道の駅特産品）  
スタンプ20個以上 → A賞20名（5,000円相当の道の駅商品券）  
スタンプ15個以上 → B賞30名（4,000円相当の道の駅特産品）  
スタンプ10個以上 → C賞50名（2,000円相当の道の駅商品券）  
スタンプ5個以上 → いーはとーぶ賞50名（1,000円相当の道の駅商品券）  
該当スタンプ10個以上 → Wチャンス特別賞50名（3,000円相当の道の駅商品券）

★詳細は「岩手県「道の駅」連絡会」ホームページを御参照ください

<https://www.thr.mlit.go.jp/iwate/yakudati/michinoeki/index.html>

## 2 三陸沿岸道路沿線の道の駅



仙台市から八戸市を結ぶ三陸沿岸道路は、令和3年内の全線開通が予定されており、約3時間10分の時間短縮が見込まれています。

県内の三陸沿岸道路沿線には、令和3年7月末時点で9箇所の道の駅が整備されています。

## 3 新型コロナウイルス感染拡大防止対策への御協力をお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、道の駅来店時は「手指消毒」、「マスク着用」、「お買い物時の距離確保」等の感染拡大防止対策に御協力をお願いします。

### 【問い合わせ先】

岩手県県土整備部道路建設課 計画調査グループ

電話：019-629-5867 FAX：019-629-9124 E-mail：AG0003@pref.iwate.jp

岩手県県土整備部道路環境課 維持グループ

電話：019-629-5880 FAX：019-629-9124 E-mail：AG0004@pref.iwate.jp